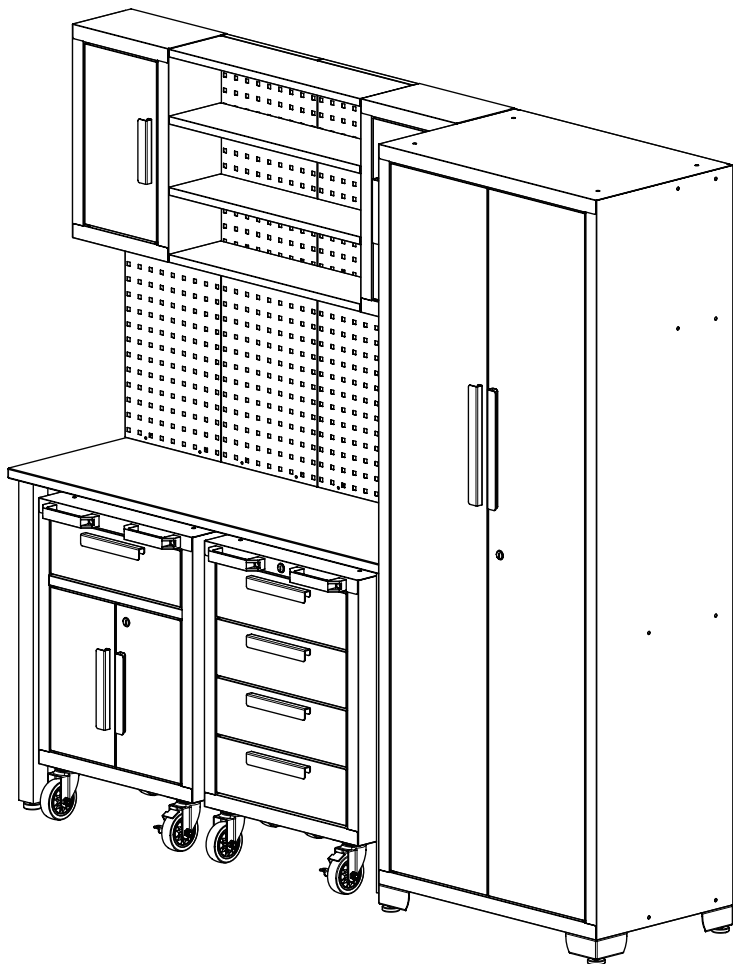


KN206101 ガレージキャビネット 取扱説明書

この度は、KN206101 ガレージキャビネットをお買い上げいただきありがとうございます。
必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



*注) 予告なくセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

重要

開封後は製品の内容・状態を確認し、欠品や損傷がないか確認してください。製品に問題がある場合は、組み立てる前に販売店に連絡してください。また、梱包していた箱・パレットはご対応時に使用する場合があります。ご使用頂くまで処分をしないでください。

警告

下記内容をお守りください。
重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 必ず 2 人以上で移動・組み立て・設置作業を行ってください。
- ・ 設置前および設置完了まで、子供を近づけないでください。
- ・ 製品の上に乗ったり、引き出しやテーブルの上に寄りかかったりしないでください。
- ・ 製品の組み立て作業時は、安全メガネ等の安全防具を着用してください。工具や部材が滑ってケガをする危険があります。
- ・ 製品を改造しないでください。溶接等はしないでください。強度不足や思わぬ事故によりケガをする危険があります。
- ・ 各部の最大積載重量を超えないでください。最大積載重量は以下になります。

キャビネット種類	棚	引き出し	底板	天板	全体の合計
ロッカー	68kg	-	100kg	68kg	372kg
ウォールキャビネット	-	-	23kg	-	23kg
1引出ローラーキャビネット	45kg	32kg×1	45kg	45kg	168kg
4引出ローラーキャビネット	-	32kg×4	-	45kg	172kg
ワークベンチ	-	-	-	363kg	363kg

注意

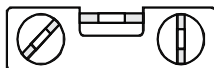
下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ 複数の引き出しを開く場合は、バランスに注意してください。不安定になり、製品の転倒や破損によりケガをする危険があります。
- ・ 製品を正しく設置しないと製品が転倒する危険があります。壁等に確実に取り付けてください。

組み立てに必要な道具 *一例



モンキーレンチ



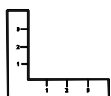
水平器



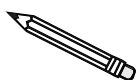
下地センサー



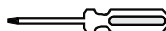
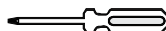
メジャー



直角定規



鉛筆



+・-ドライバー



電動ドリル



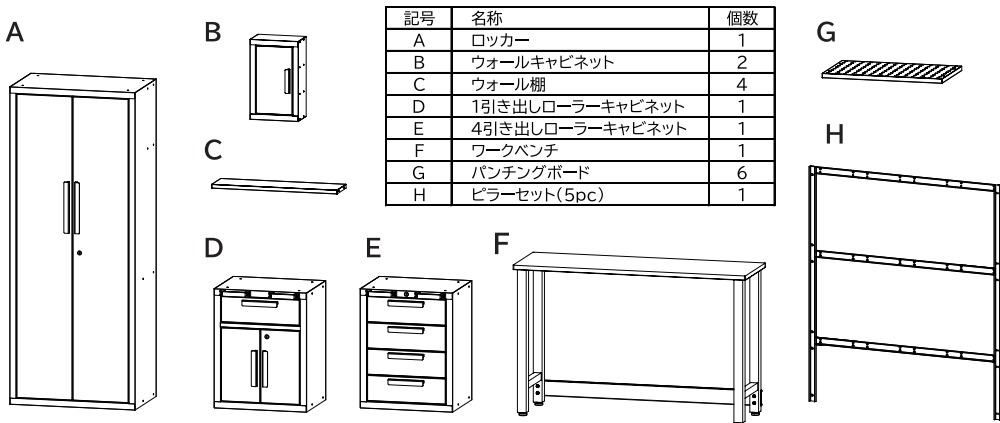
開封時の注意

1. 本製品を開封するために十分なスペースを確保してください。
2. すべての部品を開封し、製品に損傷はないか、欠品がないかを確認してください。
3. 問題がないことを確認したら、必要な工具を用意して組み立て作業を行ってください。
4. 本製品の組み立て・設置が終わったら、梱包材を地域自治体の指示に従い処分してください。

■ セット内容

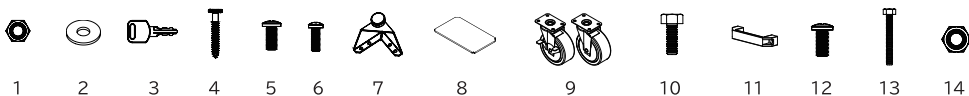
キャビネット

- * 開封時、各キャビネットのハンドルは裏面に取り付けられています。
- * F ワークベンチは分解された状態で梱包されています。



小部品

No.	部品名	個数(キャビネット1個当たり)						
		ウォールキャビネット	ロッカー	1引出ローラーキャビネット	4引出ローラーキャビネット	ワークベンチ	パンチングボード	ピラー
1	M6 フランジナット	8	4	-	-	-	-	-
2	ワッシャー	4	4	-	-	-	4	-
3	キー	-	2	2	2	-	-	-
4	M5×50 タッピングボルト	4	4	-	-	-	4	-
5	M6×12 ボルト	8	20	-	-	-	-	58
6	M5×12 ボルト	2	4	6	8	-	-	-
7	フット(高さ調整)	-	4	-	-	-	-	-
8	棚板	-	3	1	-	-	-	-
9	キャスター	-	-	4	4	-	-	-
10	M8×20 ボルト	-	-	16	16	-	-	-
11	ハンドル	-	-	2	2	-	-	-
12	M8×16 ボルト	-	-	4	4	8	-	-
13	M8×65 ボルト	-	-	-	-	4	-	-
14	M8 フランジナット	-	-	-	-	4	-	-



■ 組み立て

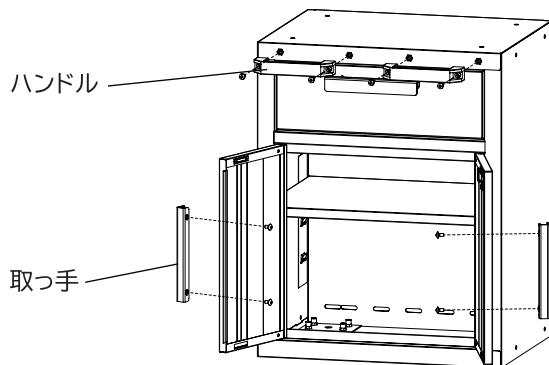
⚠ 設置作業時の注意

- ・ 設置計画ができれば設置作業を行ってください。
- ・ 作業中は、キャビネットの落下・転倒により体の一部を挟まれる等の危険があります。慎重に行ってください。
- ・ 作業は 2 人以上で行ってください。
- ・ キャビネットやテーブルの連結時、ボルト穴のずれにより位置調整やフット高さの微調整が必要になる場合があります。状況に応じて作業してください。
- ・ 次頁以降の設置手順は参考になります。安全を確保しながら、状況に応じて設置作業を行ってください。
- ・ キャビネットを壁に固定するアンカーは M5×50 タッピングボルトが付属していますが、壁の状態によっては市販のアンカーボルトを用いて固定してください。
- ・ アンカーやキャビネット連結ボルトの位置・取り付け数は任意になります。壁の状態やキャビネットの形状に応じて取り付けてください。
- ・ キャビネット設置・連結時に、ドア・引き出しを開けながら作業しますが、作業が困難な場合はドア・引き出しをキャビネットから取り外してください。

取っ手・ハンドルの取り付け

引き出しまたはドアを開いた裏面にある取っ手を前面に取り付けます。プラスドライバーを使用して引き出しまたはドアの前面のボルトを緩め、裏面にある取っ手を取り外してから、引き出しまたはドアの前面に取り付けてください。すべてのキャビネット（ロッカー）の引き出しとドアに行ってください。

ローラーキャビネットにハンドルを取り付けます。各ローラーキャビネットにハンドルを扉側（前側）上部に、M8×16 ボルトを使用して取り付けてください。

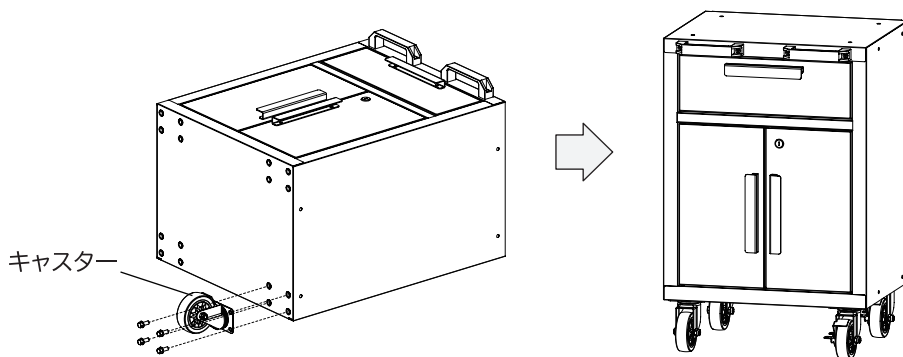


キャスターの取り付け

ローラーキャビネット底部にキャスターを取り付けます。

各ローラーキャビネットの底部にキャスターを M8×20 ボルトを使用して取り付けてください。

ロック付きのキャスター ×2 が扉側（前側）になるように配置してください。

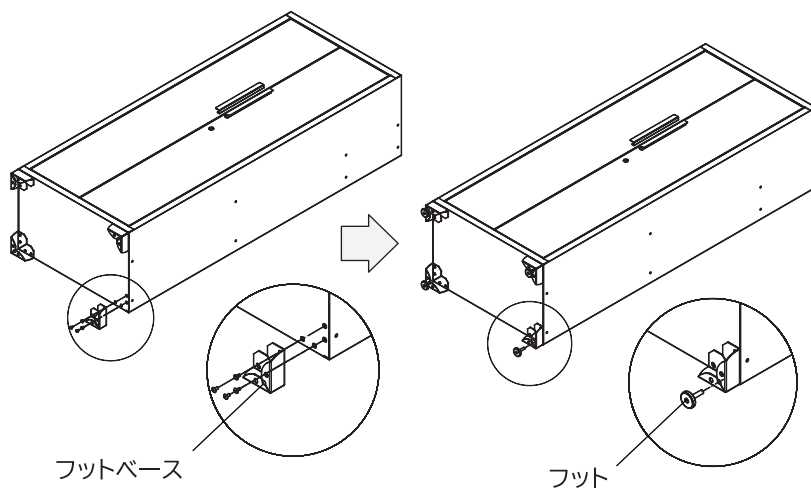


フットの取り付け

ロッカー底部にフットを取り付けます。

ロッカーの底部 4 箇所にフットベースを M6×12 ボルトを使用して取り付けした後、フットをねじ込んで取り付けてください。

*フットの床接地部は回転することにより高さ調整が可能です。



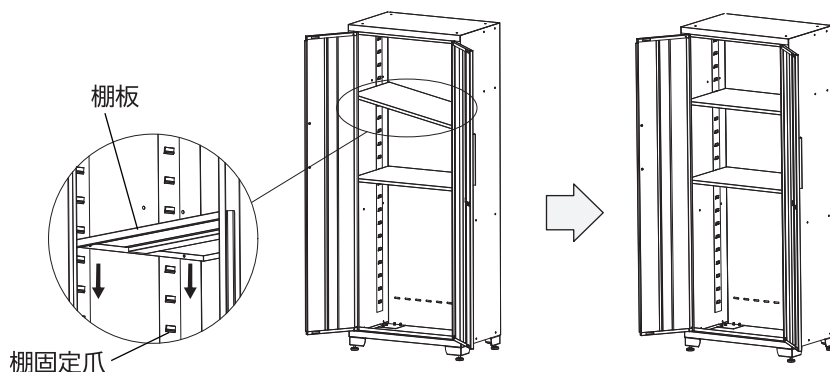
棚板の取り付け

ロッカー内に棚板を取り付けます。

棚板を水平になるようにロッカー内側面の爪に引っ掛けて取り付けてください。

*棚板には、前後向きがあります。(折り返しがある方が前)

*ロッカーのロックが機能するために1つの棚板は定位置になります。11頁参照



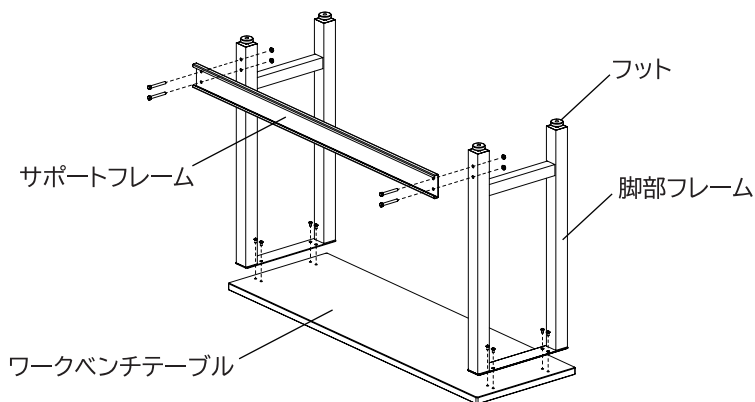
ワークベンチの組み立て

ワークベンチを下イラストを参考に組み立てます。

脚部フレームをワークベンチテーブルに M8×16 ボルトを使用して取り付け、サポートフレームを M8×65 ボルトと M8 ナットを使用して脚部フレームに固定してください。

*ワークベンチテーブルは側面にあるボルト穴がサポートフレーム側(後側)になるよう配置してください。

*フットの床接地部は回転することにより高さ調整が可能です。

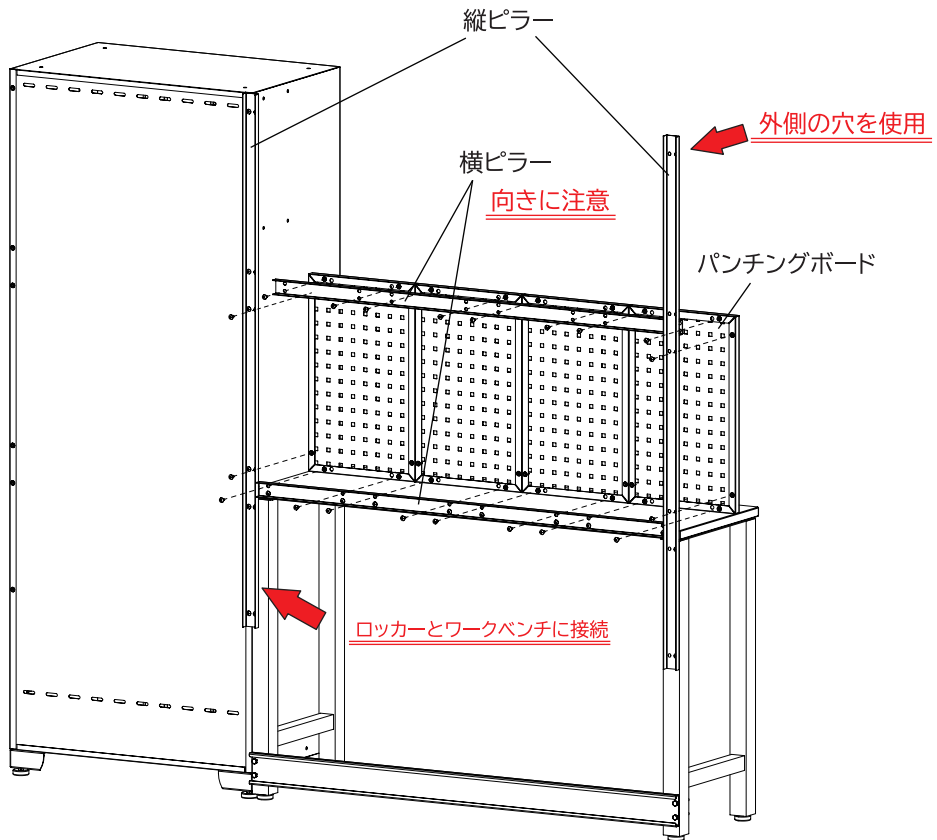


ピラー・パンチングボードの取り付け

ロッカー・ワークベンチの接続およびピラー・パンチングボードを取り付けます。
ロッカーとワークベンチを並べて配置し、それぞれの高さを調整して並べてください。
縦ピラー 1 本をロッカーとワークベンチ脚部フレームに接続します。この時、ネジ穴の高さを合わせるためロッカーおよびワークベンチ底部のフットを回転してそれぞれの高さを調整してください。

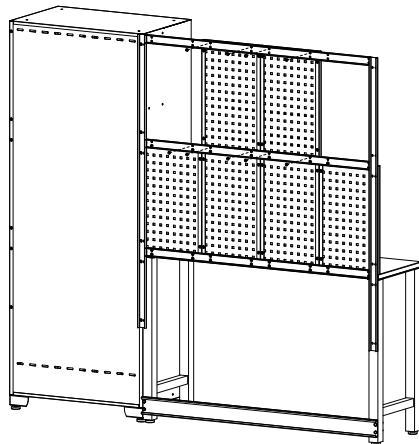
ロッカーと接続しない側のワークベンチ脚部フレームにもう 1 本の縦ピラーを M6×12 ボルトを使用して取り付けてください。*外側の取り付け穴のみ使用します。

ワークベンチテーブルに横ピラーを M6×12 ボルトを使用して取り付けからパンチングボードを下図を参照に 4 枚と、横ピラーを M6×12 ボルトを使用して取り付けてください。
*横ピラーは端とネジ穴の長さが左右異なります。長い方がロッカー側になります。
*ピラーを左右対称に取り付け、ロッカーを反対側に配置することもできます。



ピラー・パンチングボードの取り付け 続き

中央寄りにパンチングボード×2と横ピラーを取り付けてください。
*上両端にはウォールキャビネットが接続されます。

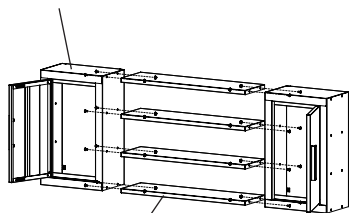


ウォールキャビネット・ウォール棚の取り付け

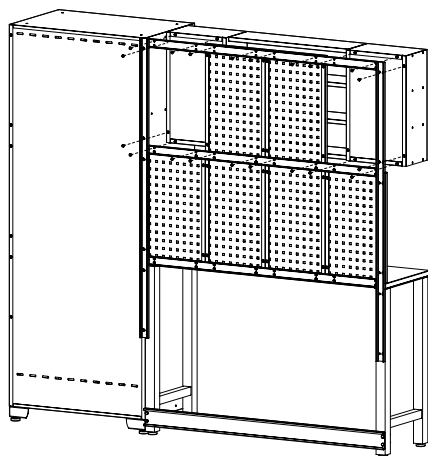
ウォールキャビネットとウォール棚をピラーに取り付けます。
ウォールキャビネットにウォール棚を下イラストを参照に M6×12 ボルトと M6 ナットを使用して取り付けてください。

ウォールキャビネットをピラーに M6×12 ボルトを使用して取り付けてください。
*取り付けは 2 人以上で行ってください。

ウォールキャビネット×2

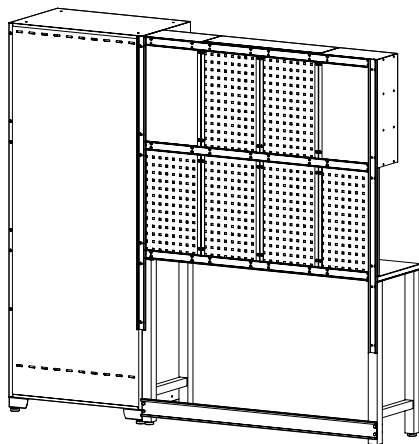


ウォール棚×4



各ボルト増し締め 接続の確認

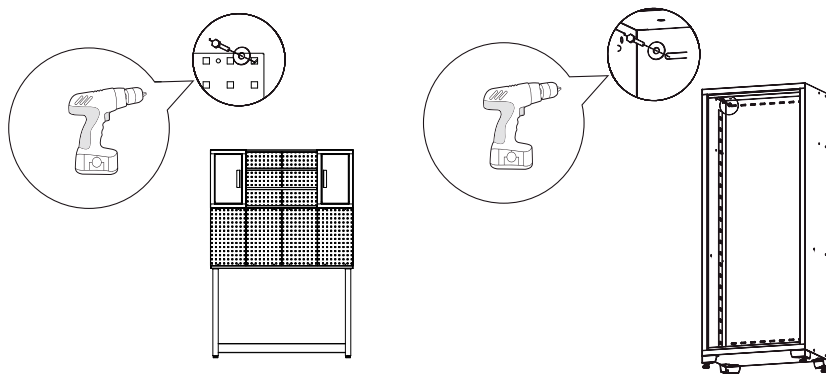
各ボルトを増し締めし、正しく接続されているか確認してください。



設置・壁固定

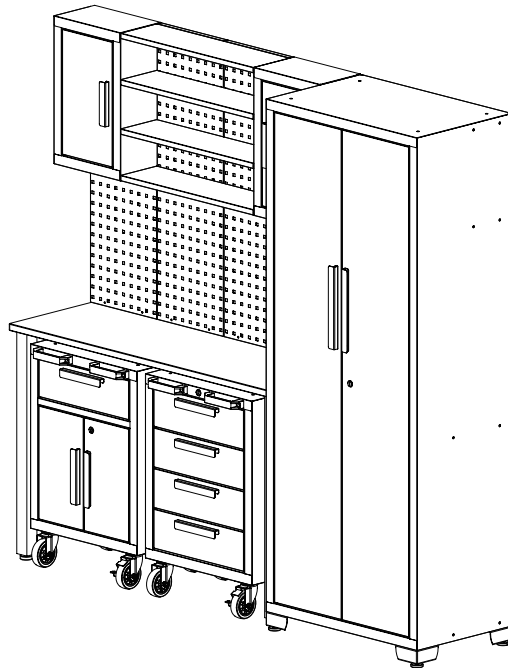
組み立てたガレージキャビネットを設置したい場所の壁に押し付けてください。

倒れ防止のため、付属の M5×50 タッピングボルト、ワッシャーもしくは市販のアンカーボルト等を使用し、ロッカーやパンチングボードの穴を介してガレージキャビネットを壁に固定してください。



最終点検・調整

1. キャビネット・ワークテーブル等に取り付けたすべてのボルト（ナット）が締まっていることを確認し、緩んでいたら増し締めしてください。
2. キャビネットを支えるのに必要なアンカーを壁に打ち付けて固定してください。
*アンカーの位置・数・ボルト等は状況に応じて変更・追加してください。
3. 床の形状に合わせて、ロッカー・ワークベンチのフット高さを調整してください。
4. ドアを開けたり、引き出しを動かしたり、軽くゆすったりしてキャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。ガタつきや落下・転倒の恐れがある場合は再度設置を見直し、調整してください。
5. ロッカー・1引き出しローラーキャビネット内部に棚板を任意の位置に取り付けてください。



完成イメージ

使用方法

1. 各キャビネットのドアは、キーでロックすることができます。
2. 棚板の位置は任意の高さに変更することができます。



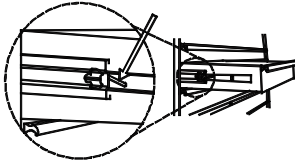
1引き出しローラーキャビネット、ウォールキャビネットの引き出しはロックがついていません。
ロッカーは、棚板の位置によってはロックがかからない場合があります。

引き出しの取り外しについて

ローラーキャビネットの引き出しは、レールにあるリリースレバーを操作したまま保持してさらに引くと取り外すことができます。

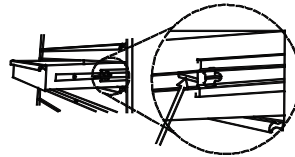
引き出しレール左側

リリースレバーを押し下げたまま保持



引き出しレール右側

リリースレバーを押し上げたまま保持



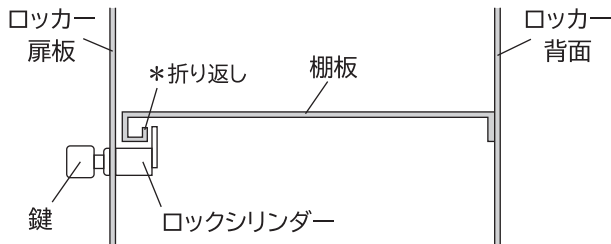
引き出しを取り付ける場合は、左右のレールの溝を合わせてゆっくりと奥まで挿入してください。

ロッカーの棚板設置と鍵について

ロッカーの鍵は、棚板にひっかかる構造になっています。棚板を配置する時は、1つの棚板を鍵が機能する位置にしてください。

*下から11段目（高さ：ロッカー下床から約940mm）の棚フック

*棚板には、前後向きがあります。（折り返しがある方が前）



メンテナンスについて

1. 各可動部を定期的に確認し、給油してください。
2. 汚れが付着した場合は、洗剤を含ませたウエス等でふき取ってください。
3. 定期的にキャビネットにガタつきや変形がないか、また確実に設置されて不安定ではないかを確認してください。異常がある場合は対処してください。



株式会社レックス
〒501-0231岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#2881123